

製品名: SCG10 (リン酸化Ser73) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab05402**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | IHC, ICC/IF, ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | リン酸化 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:10000

分子量

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | STMN2 |
| 別名 | STMN2; SCG10; SCGN10; Stathmin-2; Superior cervical ganglion-10 protein; Protein SCG10 |
| 遺伝子 ID | 11075.0 |
| SwissProt ID | Q93045 |
| 免疫原 | ヒト SCG10 のリン酸化部位 (リン酸化Ser73) 周辺の合成リン酸化ペプチド |

背景

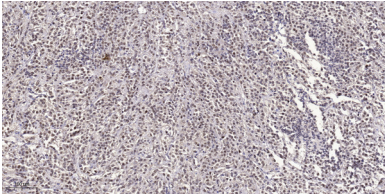
この遺伝子は、リン酸化タンパク質のスタスミンファミリーのメンバーをコードします。スタスミンタンパク質は、微小管のダイナミクスとシグナル伝達に機能します。コードされているタンパク質は、ニューロンの成長を調節する役割を果たし、骨形成にも関与

していると考えられています。この遺伝子の発現低下は、ダウン症候群およびアルツハイマー病と関連付けられています。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが観察されています。この遺伝子の擬似遺伝子は、6番染色体長腕に位置しています。[RefSeq 提供、2010年11月]、機能:ニューロンの分化、および神経突起伸展時の細胞骨格と膜の相互作用の調節に役割を果たす可能性があります。、PTM:SUMO化。、類似性:スタスミンファミリーに属します。、細胞内局在:発達中のニューロンの核周細胞質、軸索、および成長円錐の点状構造に関連します。SCG10は可溶性および膜結合型の両方で存在する。、組織特異性:ニューロン特異的。、

研究分野

微小管ダイナミクスの制御

画像データ



パラフィン包埋ヒト小腸癌組織の免疫組織化学分析。1、SCG10（リン酸化Ser73）ウサギポリクローナル抗体を1:200に希釈（4°Cで一晩）。2、クエン酸ナトリウムpH 6.0を用いて抗原賦活化（>98°C、20分）。3、二次抗体を1:200に希釈した。